

T F T（思考場療法）で頭痛が軽減した症例

担当； 佐野明文 長野県 佐野カイロプラクティックオフィス 院長

*大変古い症例ですが、当時のことははっきり覚えていますので報告します。

患者； S・Oさん 68歳 女性

初診日； 2004年9月3日

主訴； 腰痛 副訴として頭痛

現病歴； 10日ほど前より、夜中起きる時、朝起きる時に腰仙関節部周辺に痛みが出る。

頭痛に関しては、時々、右半分に激しい痛みがある。（受信時は痛み無し）9年前に右網膜剥離の手術を受けていて、それ以降とゆうことでした。

既往歴； 高血圧

社会歴； 農家（果樹園）

家族歴； 特になし

内服薬； 高血圧に対する薬を内服中

臨床所見； 体幹のROM、左側屈で腰仙関節部の痛みが出る。その他の動きはOK。知覚、反射は特に異常無し。

頭痛に対し、本来は、頭部の脳神経検査などやらず手は行けなかったと思いますが、その際はやっていません。頭痛の際、前兆現象は特に感じない、とゆうことでした。

治療；

1回目（9月3日）

主に持続圧迫的な手技により、骨盤、胸郭、脊柱の歪みと可動性を改善させています。

骨盤は、仙骨がRAI-S、寛骨のLP-IN、RA-INに対しては、SOTブロックを使用して調整、腰部全体が左突側弯で可動性減少していたのを改善。

頭痛など頭頸部の症状が強い場合は、頭蓋底部の緊張緩和、硬膜の緊張の解除などを目的として、頭蓋仙骨治療を行っています。

頭蓋底の解放テクニック、CV-4、前頭骨リフト、頭頂骨リフト、蝶形骨リフト、耳を引っ張るテクニックなど

2回目（9月7日）

腰の痛みは少し和らいだが、まだ少し痛む。

治療は1回目同様。

3回目（9月14日）

腰はだいぶ良い。

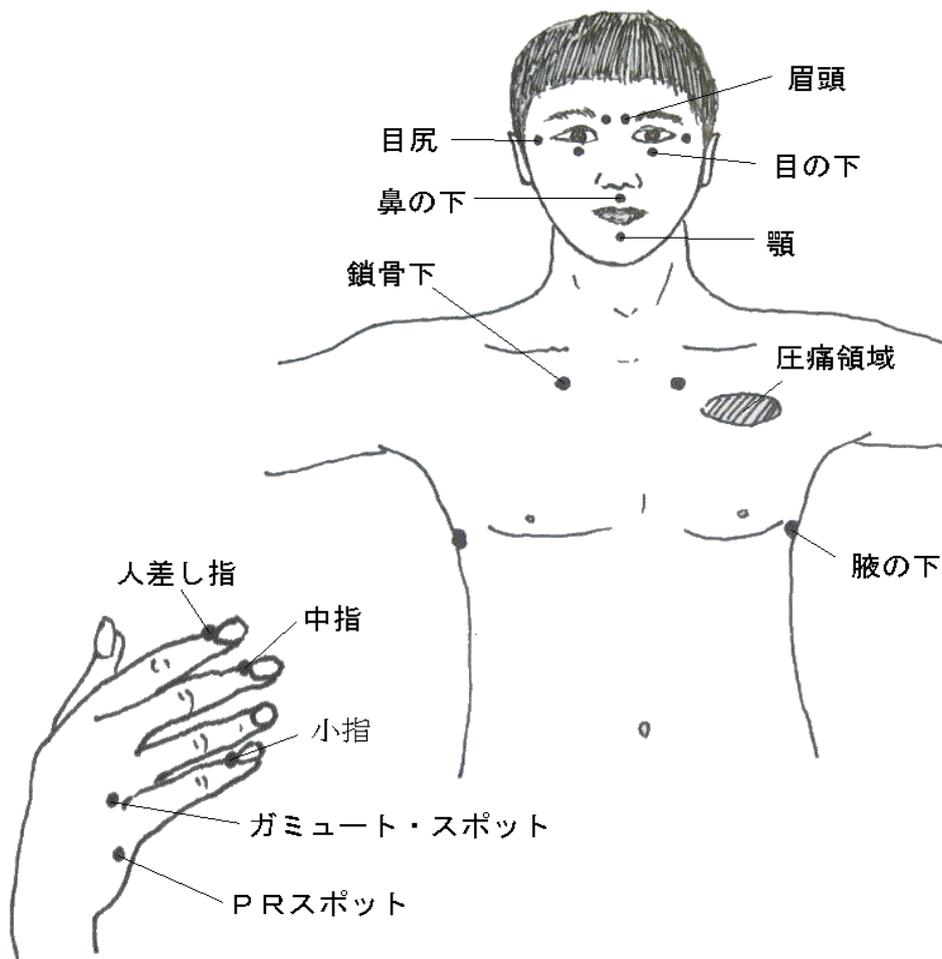
治療は同様。

その後は農作業の関係で腰の張り感などが出たりして、症状が出たときに治療する形で継続して来院しています。

13回目（2005年2月10日）

頭痛に関しては、腰痛軽快後も、時々強い痛みが出るということで、TFT（思考場療法）のPRスポット15回とガミュート・スポット50回のタッピングを指導しました。

TFT療法の、アルゴリズムレベルで使われる治療ポイントは、この13カ所です。それぞれ左右対称の場所にありますが、圧痛領域だけは、左側だけの治療ポイントになります。



ガミュート・スポット = こぶしを作ったときに出来る薬指と小指の関節の谷を、手首方向に2.5センチ移動したところ

PRスポット = 手のひら横の小指の付け根と手首の中間点

PRスポットはスイッチングのような状態を修正するポイントとして使われます。

ガミュート・スポットはいろいろな状況で使われますが、主には身体的な苦痛に対して使われます。

頭痛がするときはその痛みを感じながらタッピングしてもらいます。TF Tの正しい治療手順では、もう少し複雑ですが、患者さんが覚えられるようにこの2ポイントだけの指導にしました。

14回目 (2005年3月9日)

まだ少し痛み出るが、TF Tが効く感じ、とすることで、その後も、頭痛が起きたらタッピングをするように指導しました。

19回目 (2005年8月3日)

腰の重だるさが主訴で来院した際は「頭痛はひどくないが薬ははなせない」

31回目 (2005年5月9日)

最近1ヵ月に1度のメンテナンス的な治療になっていますが、頭痛はほとんど気にならない。とすることでした。

考察; TF T (思考場療法) は、不安や恐怖など、心理的な問題を対象とした治療法です。TF Tの理論では、特定のポイントを特定の順番でタッピングすることによって、思考場に存在するパータベーションと言われる異常な状態を解消することで、心理的な問題が解決するとされています。

理屈はともかく、実際、緊張などについてTF Tを行ってみると、緊張を感じさせることを考えたときの身体に感じる緊張感が減少したり消失したりということが起こります。

今回、身体的苦痛に対するポイントであるガミュートスポットのタッピングを指導しました。頭痛に対して意識を合わせた状態(頭痛を感じながら)で50回ほどタッピングしてもらいましたが、意外と効果が大きいように思います。もちろん効果の無かったこともあります。この

患者さんの他に数人の患者さんで効果が見られたり、私の家内の頭痛も
タッピング直後に痛みが取れるということを経験しています。

頭痛以外の痛みにも効果があるのか？

他のポイントのタッピングでは効果がないのか？

ということについては、試していないのでまだ分かりません。

T F Tの理論では、どこの痛みに対しても、その痛みを意識を合わせて、
タッピングすれば楽になると言うことになります。

神経的に関連のない場所でも効果が期待できることから、痛みを意識を
合わせながらのガミュートスポットのタッピングによって、痛みを和ら
げる脳内物質の分泌を促進したりするのも・・・と考えます。

カイロ的に問題がないにもかかわらず、痛みが取れない場合など、試し
てみてはどうかと思います。

T F Tについて、私が以前、東海支部の会報でT F Tを紹介した原稿を
添付しますので、参考にしてください。